

認知症のこと、もっと知ってほしい

9月21日に市駅前で啓発イベント

9月21日は「世界アルツハイマーデー」。市は、認知症対策の一環として京阪電気鉄道枚方市駅構内での啓発ポケットティッシュ配布と平和の鐘カリヨン(ヒラリヨン)のライトアップを実施する。

2025年には、高齢者の5人に1人が認知症になると言われるなか、認知症への理解と共に暮らしていける地域づくりを目的に取り組む。

市担当者は、「啓発ティッシュやライトアップのオレンジ色は、認知症をサポートする啓発カラー。イベントをきっかけに認知症のことを知り、身近に感じる機会になれば」と話す。

★1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、9月を中心に認知症の啓蒙が世界各国で実施されている。

★認知症は、治療により治るタイプのもの忘れや生活習慣病予防等の健康管理によって悪化が抑えられることがあるため、早期発見・早期対応が推奨されている。早期対応することで医療や介護、お金のことなど、今後の人生に備えられることも大きい。

★市では、これまで認知症対策として、ひらかた高齢者SOSキーホルダーの無料配布(緊急連絡先を記載したキーホルダーを身につけておくことで、救急搬送や保護された際速やかな連絡が可能となる)、認知症サポーター養成講座(認知症への理解を深めるため市民向け普及啓発)などを実施してきたが、さらに理解を拡げるために今回の駅前での啓発イベントを実施する。

★イベントの概要

・啓発ポケットティッシュ配布

日時：令和4年9月21日(水)午後2時～4時

場所：京阪電気鉄道枚方市駅2階コンコース

※当日は市キャラクターのひこぼしくんも登場して啓発をお手伝い。

・平和の鐘カリヨン(ヒラリヨン)ライトアップ

日時：令和4年9月21日(水)午後6時～8時

場所：ニッパーク岡東中央(岡東中央公園)



↑ オレンジ色の啓発ティッシュ

<お問い合わせ> 健康福祉部 福祉事務所 健康福祉総合相談課

☎ : 072-841-1401 FAX : 072-841-5711